

かつやま

1月、2月臨時会・3月定例会報告

議会だより

2025.4.24

No.95



常任委員会報告		P 2
特別委員会報告		P 6
代表質問		P 7
一般質問		P 8
令和6年度行政視察受入れ状況		P 13
審議結果		P 14

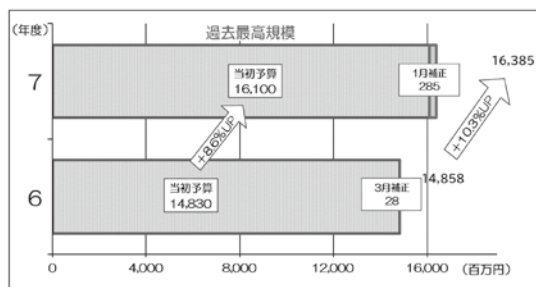
常任委員会報告

● 予算委員会

令和7年度勝山市一般会計予算161億円（前年度比8.6%増）と令和6年度勝山市一般会計補正予算（第7号）について審査を行い、いずれも可決しました。

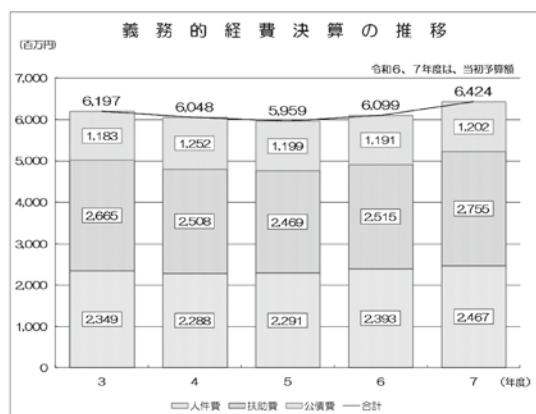
審査の過程では、さまざまな視点から多くの意見が交わされました。これらを含めて、主な内容を報告します。

◆ 当初予算【161億円】



令和7年度当初予算額は、161億円となり、**前年度比8.6%の増額**となった。また、昨年11月に閣議決定された、「国民の安心・安全と持続的な成長に向けた総合経済対策」関連事業については、令和6年度1月補正予算に計上済みであり、**当初予算と合わせた総予算額は、163億8,500万円**と前年度比**10.3%の増額**となった。この当初予算規模は、市制施行以来、**最高規模**となる。

◆ 義務的経費【64億2,400万円】



人件費は、令和6年人事院勧告に基づき給料、期末手当、勤勉手当及び寒冷地手当が増額改定並びに扶養手当の段階的見直しを反映させたことから、会計年度任用職員を含む**職員給与費は増額**となった。また、共済組合負担金の負担率アップの影響を受け**共済費についても増額**となった。

人件費全体では、前年度比7,400万円増額の24億6,700万円となった。

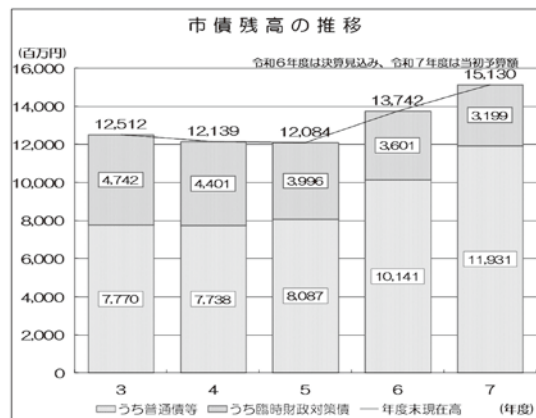
扶助費は、0歳から18歳までのすべての子どもたちへ「**応援金115（いいこ）**」を創設したことに加え、令和6年9月から実施した**第1子からの保育料完全無償化**が通年

ベース化及び保育士の処遇改善等を図るために実施された公定価格の増額改定に伴い**私立認定こども園給付費負担金等が大幅な増額**、令和6年10月分から拡充された児童手当制度が通年ベース化といった要因により、**2億4,000万円増額の27億5,500万円**となった。

公債費は、令和4年度から発行が可能となった過疎対策事業債の元金償還が始まるものの、福祉健康センターすこやか及び北谷町コミュニティセンターの建設に係る償還が終了することなどにより、元金償還は減額となる。一方、市場金利の上昇が影響し利率が上昇し利子償還が増額となるため、**公債費全体では1,100万円増額の12億200万円**となった。

義務的経費全体では、3億2,500万円増額の64億2,400万円となった。歳出全体の構成比では、**39.9%**を占めている。

◆ 市債【25億2,500万円】



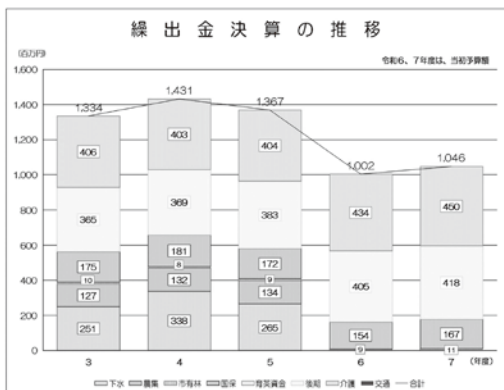
建設事業等に充てる令和7年度の**普通債の発行額は25億2,500万円**で、前年度比**8億100万円**の大幅な増額となった。これは、令和6年度から3ヶ年の継続費により整備する**勝山中学校校舎等建設事業が本格化**することが大きく影響している。

このほか、令和5年度から実施している**ビュークリーンおくえつ基幹改良工事**に加え、防災行政無線や高規格救急車の更新、市役所庁舎の地下配電盤等地上化工事及び防災情報ネットワーク再整備など、**緊急防災・減災事業債の発行が増額**となっている。

市債残高については、臨時財政対策債分が前年度比4億200万円減額となるものの、普通債分が前年度比17億9,000万円の大幅な増額となることから、全体でも前年度比13億8,800万円の増額となる見込みである。

なお、過疎対策事業債については、配分決定後、補正予算において財源組み替えを行うことを基本とするが、勝山中学校校舎等建設事業については、**公共施設等総合管理計画に基づいて行われる公共施設の統廃合を伴う集約化・複合化事業に該当し、公共施設マネジメント特別分として全額配分を受けられることから、過疎対策事業債を財源として予算計上することとした。**

◆ その他の経費（繰出金）【10億4,600万円】



繰出金全体では、前年度比4,400万円増額の10億4,600万円となった。

介護保険特別会計は、介護給付費が伸びていることに加え、システム標準化に要するシステム改修等により事務費繰出が増額となり、**前年度比1,600万円増額の4億5,000万円**となった。

後期高齢者医療特別会計は、保険基盤安定繰出及びシステム標準化に要するシステム改修等により事務費繰出が増額となり、**前年度比700万円増額の9,900万円**となった。

後期高齢者医療広域連合負担金は、団塊の世代が被保険者となるため、医療費負担額が増額となり、**前年度比700万円増額の3億1,900万円**となった。

国民健康保険特別会計は、システム標準化に要するシステム改修等により事務費繰出が増額となり、**前年度比1,300万円増額の1億6,700万円**となった。

◆ 115（いいこ）みらい応援金事業費【1億6,049万円】

勝山の未来を担う子どもたちの夢を応援し、勝山の未来の発展につなげるため、以下の条件で合計115万円を給付することとなりました。

- (1) 出産お祝い金（妊産婦医療費相当額）・・・1万円
- (2) 0歳から18歳までを対象に教育費・校外活動費として
年1回、6万円の応援金を給付する。・・・6万円×19年＝114万円



(1) + (2) 合計115万円

委員会内議論一部抜粋

委員：①目的に掲げている、「子ども名義の口座に給付することをきっかけに家庭内で子どもの未来を「語り」「考える」機会を醸成する。」という部分をしっかりと周知させて欲しい。②目標として掲げる10年後の出生数と転入増加数を合わせて115人、婚姻数を年間45組×115%で51組といった項目の根拠が語呂合わせでは認められない。目標達成できるようにロードマップを作るべきだ。順序が逆だ。③一度始めたらやめられなくなるのでやめるべきだ。

理事者：①事業の目的をしっかりと周知させていきたい。②達成目標は語呂合わせではなく目標として掲げている。現在、各課から係長クラスの職員を募り目標達成のためのプロジェクトチームを設立したところなので、ロードマップもそこで検討したい。③現在の国の制度設計が続く仮定での試算では10年間は続けられる見込みである。

◆ 地域おこし協力隊等設置事業費【3,318万円】

人口減少や高齢化が進む勝山市において、地域外の人材を積極的に誘致し、その定住を図り、本市の地域力の強化と人口増加に資するため、勝山市地域おこし協力隊を設置しています。

報償費：246万円→350万円

活動費：174万円→200万円

委員：何人が任期終了後に勝山市に定住しているのか。

理事者：2人が定住しており、定住率は3割を下回っている。なお、全国平均は8割であるため、定住に向けて取り組んでいく。

◆ 地区公民館施設整備事業費【69万7,000円】

区又は自治会が行う次に掲げる事業に要する経費（敷地購入費及び舗装以外の整地費を除く。）に対して補助金を交付する。

- ・ 1 件20万円以上の地区公民館の新設事業
2分の1に相当する額以内（上限750万円）、
防災用具の整備に要する経費は2分の1に
相当する額以内（上限150万円）
- ・ 1 件20万円以上の地区公民館の増改築及び
修繕に要する事業
2分の1に相当する額以内（上限225万円）
- ・ 屋根雪下ろしアンカーの設置事業
10分の8に相当する額以内
- ・ 上記以外
10分の3に相当する額以内（上限200万円）

委員：蛍光灯からLED照明に切り替える場合の補助はあるのか。

理事者：地区公民館施設整備費補助金の上記以外に該当します。照明以外にも、エアコンやトイレ修繕にも利用できます。

◆ 結婚支援事業費【1,032万円】

民間事業者と連携し、結婚希望者の出会いの場を目的としたイベントやスキルアップセミナーを実施。結婚を希望する独身の方や若い世代の新婚世帯を支援し、定住人口の増加や若者の定着を図る。

委員：男性の結婚相談登録料の補助はないのか。県の結婚アプリでは成功率の実態はどうか。誘っても行きづらい、こういう支援は入り口が大事ではないか。

理事者：男性の結婚相談登録料に対する補助はない。令和6年度は県のアプリ（ふく恋 ※ふくい婚活応援ポータル）を活用して勝山で3組の成婚があった。今後は市内企業や市民にも協力を仰ぎ、参加しやすい環境を整えながらこの支援を充実させたい。

- ・ 国、県 （845万3,000円）
- ・ 一般財源 （186万7,000円）

※福井婚活サポートセンター登録者
令和6年度勝山市登録者
（男16名）（女12名）県全体（1,059名）

◆ 図書館管理運営費【6,490万8,000円】

〈主な内容〉新規事業

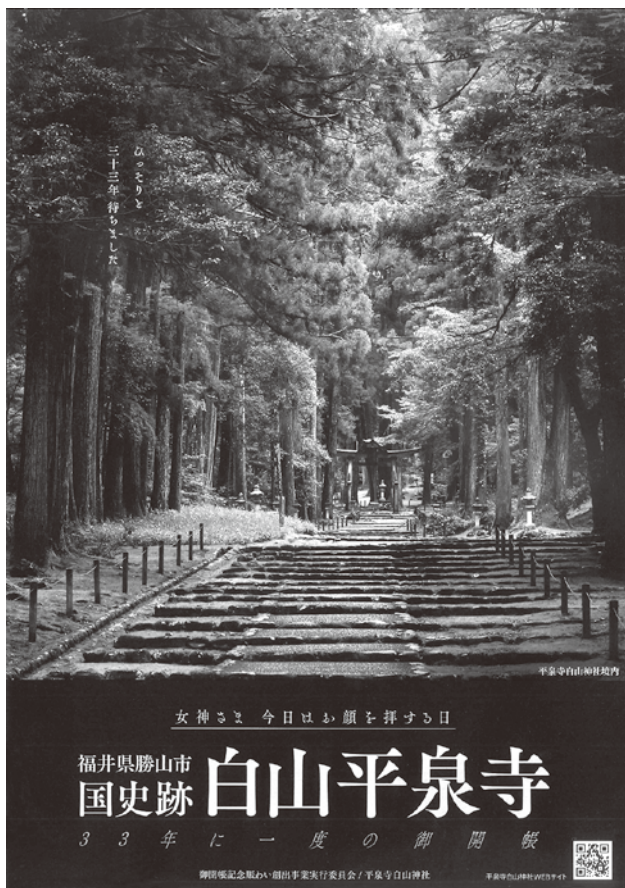
- ・ エレベーターリニューアル工事実施設計業務委託（83万6,000円）
- ・ 照明LED化改修工事（2,630万4,000円） 670台分

適正な施設の維持管理と市民サービスの向上、未来の継承、地域経済の活性を図ります。

市内にある市史編さん室の図書館2階への移転を考えており、市内外の利用者への史資料の情報及び環境を整備し、公開・活用していくことを検討しています。

◆ 平泉寺白山神社の御開帳記念
賑わい創出事業【1,257万円】
◆ 御開帳記念特別公演負担金
【114万円】

平泉寺白山神社の三十三式年祭（御開帳）、及び大師山仏母寺御開帳を記念し、市民参加による賑わいの創出と平泉寺の魅力を市内外に広く発信し、市内誘客を図ります。



◆ 山の日【新規・190万円】

令和7年度は、山の魅力や豊かな恩恵を広く発信し、「山の日」への理解を深めるため、第9回「山の日」全国大会が福井県で開催されます。

勝山市も会場の一つと予定されており、8月10日～11日の2日間、スキージャンプ勝山で「歓迎フェスティバル」を開催します。



● 建設産業委員会

審査の結果、議案9件については全て可決し、陳情1件については不採択としました。

◆ 令和7年度 勝山市下水道事業会計予算

新規事業として、昭和町2丁目で発生する浸水対策のため緊急自然災害防止対策事業債を財源に活用し、マンホールポンプ所整備の実施設計及び整備工事を行うこと、また、勝山浄化センター汚泥受入施設の機械・電気設備工事の業務委託について、債務負担行為を設定したいとの説明がありました。

委員からは、浸水対策について、ポンプを使わない方法や新たな配管を作るような抜本的な対策ができないかといった意見が出されました。また、公営企業会計化による独立採算制のもとでの事故対応への懸念が示されました。

理事者からは、立地や工法を検討し、浸水被害解消に最も効果的な方法を採用した旨の説明がありました。

◆ 今後の長尾山総合公園の整備について

国土交通省の「ネイチャーポジティブ公園」事業を活用した事業化を目指し、未買収であった2期エリアの用地約50ヘクタールを買収し、公園全体を生物多様性を確保する自然公園として整備していきたいとの説明がありました。

委員からは、予算規模はどれぐらいになるのか、それに見合うような事業になるのか、用地取得だけで終わらせずしっかりと計画を練って先進地事例となるようなものを目指してほしいといった意見が出されました。

◆ 陳情第6号「最低賃金法の改正と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書について

最低賃金引き上げの必要性には多数の委員が理解を示しましたが、1,500円という金額に対する疑問や中小企業支援を優先すべきとの意見が出されました。

採決の結果、不採択とすることに決しました。

● 総務文教厚生委員会

審査の結果、議案24件については全て可決し、陳情3件については2件を不採択、1件を継続審査としました。

◆ 115（いいこ）未来応援事業について

委員会では、115（いいこ）未来応援事業を中心に、さまざまな勝山市の子どもたちに対する新たな施策について、説明があり議論しました。

115（いいこ）未来応援事業については、対象者の人数や同時に見直される事業の内容について詳細な聞き取りがありました。

◆ こども食堂運営支援事業補助金について

こども食堂の運営に利用する経費として、消耗品、食材費、施設使用料、光熱費、ボランティアの交通費等の費用に充てる補助金について説明がありました。

委員からは経費の内訳や現在の利用状況について詳細な聞き取りがありました。

◆ 教育会館の改修について

教育会館の改修については、3月9日に実施したワークショップや1月に実施した中高生アンケートの結果について説明がありました。

委員からは、小さなお子様が屋内で遊べる場所として再整備されることに加え、中高生が勉強もできて友達と集える場を設けるなど、様々な世代が交流できる場として、それぞれの目的に応じた活用ができるような改修を望む声がありました。

一方で、多目的な利用を想定した改修になることで、ターゲット層がどこなのかぼやけてしまうことを危惧する声があり、市民にしっかり使っていただけるよう、そして利用する市民に勝山市の特徴が出せる改修を望む声がありました。

中央公園については、教育会館と並行して改修が予定されていますが、双方の連携が十分図

られるよう、要望がありました。

今後もこの改修の動向に注視していきます。



教育会館・中央公園改修にかかるワークショップの様子

教育会館・中央公園の改修にかかるワークショップ結果は勝山市HPよりご覧いただけます。



勝山市HP

特別委員会報告

● 新中学校建設特別委員会

3月定例会中の委員会では、議案2件が付託され、慎重に審査をいたしました。

勝山市立中学校建設工事請負契約の締結については、これまでの入札の結果等を含めて詳細な聞き取りを実施しました。

また工事に際しては安全確保についてはもちろんのこと、騒音の影響等も十分考慮するよう意見がありました。

本件については、人口減少なども考慮して立ち止まるべきという意見、既に実施されている工事なども勘案してここで止めることは妥当ではないといった意見、補正予算も可決されており、有利な財源の活用も含めていい方向に進むよう、努力を続けるべきなど様々な意見があり、採決の結果、可決されました。

今後も勝山市の将来を担う子どもたちがのびのびと学び、また、子どもたちが主体性をもって様々な活動ができる安全安心な学校施設が整備できるよう、議論を重ねていきます。

代表質問 議:議員/理:理事者

- 勝山市の人口減少対策について
- 勝山市の財政調整基金のあり方について

その他の質問
・新年度予算について



市議会 **丸山忠男** 議員



議 市は、全国に向けて女性の結婚・出産への希望をどう叶えるか、産休、育休や子ども子育て施策の充実等、若年女性人口の減少阻止に向けての施策を進めてきた。しかし、現在に至っても人口減少の歯止めには至っていない。人口の自然減対策、社会減対策について市長の見解を伺う。

理 市は「子育て支援日本一」をスローガンに掲げ、不妊治療費や子ども医療費の無償化、保育料完全無償化等を実施してきた。結婚支援や移住定住支援にも注力しているが、こうした施策や魅力ある生活環境を伝えきれていないのが現状である。令和7年度当初予算案の「応援金115（いいこ）」を中心に、各種施策を加えて「115（いいこ）プロジェクト」と位置づけ、市の魅力を市全体が一体となって全国へアピールし、自然減・社会減対策を進め、人口減少に歯止めをかけたい。また、市内の中高校生に勝山市の住みやすさや子育て環境の良さを伝え、将来の生活を考えるライフデザイン教育を推進するなど、子どもたちが勝山に誇りや愛着を持てる取り組みを進めていく。

議 財政調整基金とは、財源が不足した年度に使用する預金のようなものと捉えて通常、決算の剰余金を積み立てることが多く、その適正額は標準財政規模の10%と聞いている。そこで、今後の市債償還を見込みながら財政調整基金の在り方について見解を伺う。

理 財政調整基金残高の基準は条文化されていないが、国や県の指導・助言等では標準財政規模の10%程度が望ましいとされている。令和7年度の決算時点では残高は20億円に達すると考えており、市の標準財政規模の約73億円に対し27.4%となる見込み。市民生活関連の施策の推進への支障はなく今後も健全な財政運営に努める。

代表質問 議:議員/理:理事者

- 小中学校体育館の空調設備の推進について
- 中部縦貫自動車道の道路状況の早期周知について

その他の質問
・「こども誰でも通園制度」の実施について
・「にこにこ妊婦奨励金」について
・「中小企業省力化投資補助金」の周知と活用について



新風会・公明 **安岡孝一** 議員



議 小中学校体育館は子どもたちの教育の場であり、災害時には地域の避難所としても重要な役割を担っている。文部科学省の「臨時特例交付金」を活用して、小中学校体育館の空調設備を推進すべきと考えるが所見を伺う。

理 市内の小中学校体育館12館のうち、空調設備が整備されているのは成器西小学校のみ。熱中症防止や避難所機能の強化、社会体育活動等における快適な環境の整備を目的として、令和7年度は成器南小学校第2体育館と荒土小学校体育館の実施設計を行い、令和8年度から順次工事を進め、令和10年度までに全小学校体育館への設置を目指す。文部科学省の「空調設備整備臨時特例交付金」を活用し、計画的に整備を進める。中学校については、新中学校開校後の施設活用状況に応じて検討する。

議 通勤のために毎日のように中部縦貫自動車道を利用されている多くの方々に、突発的な事故や積雪等による縦貫道の通行止めを勝山インターまで行かずとも、通勤前に家で確認できるようなSNSを利用した発信や勝山インター手前に道路標示板を設置することは出来ないか。

理 中部縦貫自動車道の事故や通行止めなどの道路情報は、福井河川国道事務所のホームページやSNS、勝山インター出入口付近の道路情報板や道の駅「恐竜渓谷かつやま」で周知を行っている。今後、市のホームページに関係機関の情報リンクを掲載するなど、福井河川国道事務所と協力しての周知を検討していく。まずはホームページやSNSなどによる情報取得の推進を図りながら、必要に応じて道路情報板の追加設置について検討していく。

一般質問 議:議員/理:理事者

- 県立大学恐竜学部の学生の住宅について
- 道の駅「恐竜渓谷かつやま」に日除け用テント屋根を。

その他の質問

- ・地域と中学生との同時防災訓練について
- ・選挙投票率を上げることにについて
- ・勝山市の今後の観光ビジョンについて



市政会 下道恵子議員



議 市営住宅や定住促進住宅の高層階に現在空き部屋があると聞いている。福井県立大学恐竜学部の勝山キャンパスの学生さんに対して、その高層階についてだけ入居条件を変更して貸すことを検討できないか。

理 当市の市営住宅と定住促進住宅の入居率はそれぞれ92%、85%と高いが、高層階の空室や自治会組織の高齢化といった課題も認識している。市営住宅は災害時における一時使用や住宅困窮者への供給といった役割があるため、学生には定住促進住宅の4、5階を指定した入居条件を設けて情報提供に努める。民間賃貸住宅市場を圧迫することのないよう、市全体の住宅施策を総合的に検討し、適切に対応していく。

議 道の駅「恐竜渓谷かつやま」では四季おりおりにイベントを企画し、屋外交流場ではキッチンカーなどが並び、訪れる人を楽しませている。しかし夏のピーク時には食べる場所が足りず、日陰もないので車中で食べている人がいる。池側と玄関口に日除け用テント屋根を設置して、少しでも日陰の下で食べてもらうようにできないか市の見解を伺う。

理 「恐竜渓谷かつやま」はオープン以来、多くの来場者を迎えており、混雑時の飲食スペース不足は認識している。猛暑対策として日除けの必要性も理解しているが、強風への耐久性や冬季の保管場所確保が課題であり、安全な設備の導入について検討を進める。また、令和7年度には青果市場が開設され、飲食スペースも整備される。既存飲食店も含め、道の駅エリア全体の利便性向上を図る。



一般質問 議:議員/理:理事者

- 公衆トイレ・公共施設のトイレについて
- 高齢者等の買い物支援について

その他の質問

- ・高校の魅力化について



森 かよ子議員



議 生活上必要なトイレは常に清潔で快適に利用したい場所であり、安心して安らげる空間であることが大切である。また公園や公共施設の公衆トイレを整備していくことは、誰もが安心して色々な活動に参加、参画できる社会の実現につながるのではないかと。公園、市民会館、教育会館のトイレの改修計画はどうなっているのか伺う。

理 公園トイレの改修は、公園長寿命化計画に基づき、老朽化したものから優先順位を見定め実施している。令和5年度に滝波公園と立川第2公園、令和6年度に刀清水公園のトイレを洋式化し、令和7年度には北部第3公園を洋式化する予定である。教育会館は今後の改修に合わせ、子ども専用トイレやバリアフリー対応トイレを整備する。市民会館のトイレ改修は、公共施設の改修工事費の平準化を考慮し、教育会館の改修後に実施する予定である。

議 過疎による交通機関の減少や店舗の減少の見える勝山市において増え続けるであろう高齢者等の買い物支援について市の見解を伺う。

理 高齢化率の上昇に伴い、高齢者の買い物支援は重要である。一般的な支援策として、訪問介護や有償ボランティアによる買い物代行、移動販売車や宅配サービスの利用などがある。市では、社会福祉協議会に委託した生活支援体制整備事業の中で、買い物支援を実施している。この事業は地区社会福祉協議会が中心となり、ボランティアや介護保険施設、介護サービス事業所の協力を得ながらデマンドバスやタクシーなどを利用し、交通手段のない高齢者の買い物を支援するもの。令和9年4月に市内全域での導入を計画しているフルデマンドバスの活用なども視野に、今後も地元住民や関係機関と連携して地域の特性に応じた買い物支援に取り組んでいく。

一般質問 議:議員/理:理事者

- 除雪作業について
- 金融リテラシーについて

その他の質問
・ 観光政策について



吉田将克 議員



議 県外の方がホワイトザウルス周辺の雪の上を歩いたところ、周辺の1m程の段差が分からず足がはまってしまい、抜けるまでに約20分かかった。ホワイトザウルス広場の安全対策はどのように行っており、また、観光地や子どもの通学路でこのようなことが起きないように危険と思われる箇所には何らかの対応をすべきである。

理 ホワイトザウルス広場沿いの市道6-4号線では、除雪で広場に雪が押し寄せられ道路との高低差が小さくなっており、雪の上を歩けると思われて進入した結果、足が雪にはまってしまったと考えられる。市内には同様の箇所が多数あるため、不特定多数が訪れる場所はSNS等で注意喚起を行う。通学路に関しては学校や地域の見守り隊、PTA等と協議し危険箇所の注意喚起を図る。

議 国民一人ひとりが、より自立的で安心かつ豊かな生活を実現するため、お金の知識や判断力のことである金融リテラシーを身に付ける必要がある。小中学校の教育ではどのような金融教育を行い、消費者保護として、金融商品の販売における問題点や注意喚起はどのように行っているのか伺う。

理 学校での金融教育は、成年年齢の引き下げやキャッシュレス化の進展などを受け、児童生徒が発達段階に応じて金融経済の基本的な仕組みを学べるよう、全教育活動を通じて実施している。小学校ではお金の価値や計画的な管理等を学び、中学校では金融の仕組みや契約等を理解し、将来の生活設計や職業選択のため知識の習得を目指している。消費者保護については、勝山市消費者センターにて出前講座や消費者相談を実施、毎月の市広報誌で相談事例を紹介し注意喚起を行っている。

一般質問 議:議員/理:理事者

- 水田の5年水張りルールについて
- 自殺防止について

その他の質問
・ 宿泊税について
・ 修学旅行について
・ 2050年の子供たちのために



下牧一郎 議員



議 政府は水田を対象として支援する水活を、作物ごとの生産性向上等への支援へと転換。令和9年度以降「5年水張りの要件」は求めないと発表した。そこで、「5年水張りルール」はどう変わるのか具体的に問う。

理 令和9年度以降、水田機能の確認のための5年水張り要件は求めないこととなる。令和7、8年の具体的な取組は国から示されていないが、ソバや麦の連作障害対策として、土壤改良材を用いた施肥管理や米ぬかなどの有機物投入が考えられる。今後、具体的な情報が示され次第、農業者へ周知していく。

議 子どもの自殺が深刻になり、国は令和5年6月に対策の強化策を公表した。その柱の一つがコロナ禍を経て小中学生に1人1台行き渡ったタブレット端末の活用だ。気持ちの変化やいじめの有無を定期的に入力してもらい、なるべく早くリスクを把握する狙いがある。そこで、市内小中学校ではタブレット端末を活用して悩みを抱える児童生徒の早期発見につなげる取り組みを問う。

理 小中学校では、発達段階に応じてタブレット端末を活用し、ポジティブ教育や心の学習、困ったときのSOSの出し方について学んでいる。一部の学校ではグーグルフォームを用いた心のお天気チェックを実施し、担任が児童生徒の悩みを把握している。また、心のアンケートやいじめアンケートをタブレットで実施する学校もある。低学年や小規模校などでは紙を使うこともあり、タブレットと紙それぞれの特性を活かして使い分けている。今後も、全教職員が児童生徒の様子を見守り、情報共有し、家庭や専門機関と連携しながら子どもたちの心の悩みの把握や対応に努めるとともに、タブレットの有効な活用について検討していく。

一般質問 議:議員/理:理事者

- 観光について
- 教育会館の改修に伴う今後のビジョンについて



石垣智史 議員

議 市では外国人観光客向けの多言語対応やデジタル情報提供が十分ではなく、訪問者が迷いやすい状況である。多言語リーフレットの配布や、観光・交通・飲食情報に繋がるQRコード付き看板の設置などの整備が必要だと考えるが、行政の対応方針を伺う。

理 本市を訪れる外国人観光客は増えており、インバウンド受入環境の整備は急務。勝山市観光まちづくり株式会社では、インターネット上に飲食店情報を掲載する講座や、市内バス停の情報提供などの取組を開始するほか、市内事業者がインバウンド受入対応策を学ぶ「インバウンドラボ」を始動し、参加者拡大を図っている。この枠組みを活用して関係団体や事業者、市民と一体となり、受入機運を高めていく。また市では、市内交通等の看板の外国語対応や新たな二次交通対策を検討中。さらに永平寺町・あわら市・坂井市・加賀市と組織する越前加賀インバウンド推進機構の中で広域的なインバウンド招聘や受け入れを検討する。

議 教育会館の改修にあたり、大野市のような先進的な施設整備を望む声がある一方で、中学校建替えなど他の公共事業との予算調整も必要である。今回の改修工事の規模感や、人口減少を踏まえた周辺施設の再整備に関する行政のビジョン、財源を考慮した将来像を伺う。

理 教育会館は、1階ロビーや和室、2階の一部を中心に改修し、トイレや内装整備も計画している。中央公園のリニューアルでは、樹木や生垣の撤去、駐車場設置、周辺施設との連携を進め、エリア全体の利便性向上と魅力アップを図る。令和7年度に実施設計、令和8年度に工事を予定。国や県の補助金を活用し市の負担軽減に努め、中心市街地の活性化を目指す。

一般質問 議:議員/理:理事者

- 今後の左義長まつりのあり方について

その他の質問

・学校部活動の外部指導者の活用状況とその内容について



富士根信子 議員

議 左義長まつりは300年以上続く伝統行事で奥越に春を呼ぶ御神火送り儀式のどんど焼きが行われている。地区の少子化、若者の土地離れによる人口減少、高齢化などで櫓を維持し地区の年番が続けられるか心配する声がある。

空き家を利用して作り物の展示、絵行燈、短冊吊り、のぼり旗の設置など左義長に関係する出来事を宿泊体験してもらうツアー、まただれでも市外の方や他の地区の方と伝統文化を未来へ受け継ぐ左義長まつりを体験して頂くことはできないか。

全国から観光客を呼べる自慢できる日本の冬の左義長まつりを多くの人に楽しんでもらえたらと願っている。所見を伺う。

理 市では左義長ばやし育成事業として、勝山左義長ばやし保存会が実施する学校での左義長ばやし披露や指導活動を支援している。勝山左義長まつり実行委員会では左義長ばやし講習会を実施し、令和6年度は延べ250人が参加した。また応援体制構築モデル事業奨励金を設け、地区外等からの応援受け入れを拡大し、まつりの担い手不足解消につなげている。

左義長まつりを体験できるツアーは文化継承や地域活性化に寄与するが、作り物制作や櫓設置などすべて体験するには1週間以上の滞在を要し、実現には宿泊施設確保や受け入れ体制など課題があるため、DMO法人や関係団体との協議が必要。今後も実行委員会を通じて各地区の意見を聞きながら、伝統文化が継続できるよう支援していく。



一般質問 議:議員/理:理事者

- 農薬の対応策について
- オーガニック給食について

その他の質問

- ・予防医学の推進と意識の醸成について
- ・市有林としての山地集約化について



李 江嵐議員



議 農薬による健康被害は多岐にわたる上、環境に対する悪影響も甚大であるという研究結果がある。

①農薬に依存しない農法を支援するか。

②水質検査の結果を定期的に開示する仕組みを導入する考えはあるか。

理 ①市では、環境に配慮した農業の取組を支援している。令和6年度は8団体15名の農業者が125ヘクタールの圃場で有機栽培等に取り組み、交付金339万円を交付した。

②国の水質基準に定められた項目についての検査結果は、既に市ホームページで公表を行っている。農薬類は国が定める水質基準ではなく、水質管理上留意すべき項目の「水質管理目標設定項目」であるため、これまでは結果の公表はしていなかったが、令和7年度より市ホームページで公表するようにする。

議 健全な学習においてもアレルギーや免疫力の向上においても給食の重要性は極めて高い。

①小中学校で段階的にオーガニック食材の割合を増やす計画はあるか。

②学校教育の中で食育の機会を増やす方針を強く打ち出していただけないか。

理 ①市では、昨年11月より市内農家や農事組合法人から直接お米を買い上げ、学校給食へ提供している。今後、有機栽培米や特別栽培米のスポット提供も検討中である。野菜についても、若手農業者団体と協議し、一部の学校で地元産野菜の提供を開始した。現時点でオーガニック食材の割合を増やす計画や補助制度の検討はないが、研究していく。

②食育は中学校の家庭科の授業で実施しており、食品添加物や農薬の知識等について学習している。地場野菜を活用した給食の機会などを捉え、学校栄養士による食育活動なども積極的に実施していきたい。

一般質問 議:議員/理:理事者

- 中学校建設工事における勝山市の負担について

その他の質問

- ・令和7年度当初予算について



浦上雄次議員



議 令和6年度2月10日の臨時会にて中学校再編施設整備事業費の増額2億3,427万円の補正予算が可決された。

今回の補正予算増額はなぜ必要だったのか。どういう財源を活用したのか。市の負担は増えたのか。

またバス通学について、バスの台数不足や運転手不足の課題解決に向けて市はどのような財源を使っていくのか。

理 中学校校舎建設工事は入札が2回中止となった。主な理由は、全国的な技術者や作業員の不足、労務費や資材価格の高騰により、予定価格を超過したためである。また、公共工事の単価と実際の市場価格にタイムラグが生じている状況も想定される。こうした経済社会情勢を踏まえ、校舎建設工事の3回目入札に向けて価格設定の見直しが必要と判断し、増額をお願いしたものである。

財源については、文部科学省の公立学校施設整備国庫負担金を活用している。また、ジオアリーナ敷地内の地下横断歩道部分を除く全ての関連建設工事を都市構造再編集中支援事業に含めることで、国土交通省の社会資本整備総合交付金の補助対象とすることが認められている。市債についても、過疎対策事業債の公共施設マネジメント特別分として満額の配当を受けることができた。これらの国の負担金・補助金や市債の組み替えにより、令和6年度当初予算と比べ、市の負担額を約8億円軽減させることができています。

バス通学については、バスの台数や運転手不足への課題解決に向けた財源の活用に関して、運行体系の構築と合わせて現在検討中だが、財源の一つとして文部科学省の補助事業である、へき地児童生徒援助費等補助金の活用を考えている。

一般質問 議:議員/理:理事者

- ガバメントクラウドと窓口業務の時間外延長について
- 行政事務連絡交付金について



市議会 帰山寿憲 議員



議 窓口業務の時間延長が廃止された。今後の対応はどうか。

また、ガバメントクラウドに移行のメリット、デメリットは何か。

理 窓口業務の時間外延長は、マイナンバーカードによるコンビニ交付の利用率が40%を超え、市民に浸透したと判断し廃止した。印鑑登録は開庁時間内に来庁できない場合は代理登録も可能である。マイナンバーカードの普及に伴い、住民票等の証明書発行や転出届等は電子申請が可能となっている。しかし上下水道等の多くの手続きには対応していないため、引き続きカードの普及と利用促進を図り、マイナポータルを活用した電子申請の拡大による市民サービスの向上に努める。

ガバメントクラウド移行のメリットは主に、①サーバー等のインフラコスト削減、②業務標準化による品質向上、自治体間の広域連携等の促進、③情報セキュリティ向上、の3点である。課題として、多くの自治体が同時期にシステム移行するため事業者リソースが不足し、運営費用が倍増している。費用は普通交付税で措置されるが、早期の費用最適化が必要。市民サービス向上とコスト削減の効果が現れるよう努力したい。

議 区長に委託する行政協力員としての交付金は、均等割額と戸数割額の比率がおおよそ1:10となっている。基本業務量にそれほどの差は無いと思うが見直すべきでないか。

理 区長には行政協力員として、広報等の配布、市との連絡調整、災害時の情報伝達など多くの業務を担っていただいている。区長に実施したアンケート調査から、行政区の大小に関わらず、区長の負担が増加していることが明らかになった。行政協力員のあり方を研究し、均等割と戸数割の配分見直しなども併せて、区長連合会と相談・検討を進めたい。

一般質問 議:議員/理:理事者

- 18歳以下の市民に、一人あたり毎年6万円を支給することについて
- 中学校問題について

その他の質問

・ウクライナでのロシア・プーチン大統領とアメリカ・トランプ大統領の「自国利益第一主義」の言動について
・トランプ大統領の「アメリカ第一主義」に、日本に不利でも、批判もせずに「日米同盟最優先」で追随するのか
・日本被団協がノーベル平和賞を受賞し、日本政府に核兵器禁止条約の批准が求められている



日本共産党 山田安信 議員



議 子育て支援は大賛成だが、この事業には問題がある。

①国や県の財政支援はあるのか。国県支援の展望がないと、財政力が弱い勝山市は自治体間競争で「自ら墓穴を掘る」危険が高い。

②毎年1億6千万円の支給は、「財政的に公共施設が維持できなくなる」「給食無償化に7千万円は財政的にできない」等の判断と矛盾し、持続困難の危険が高い。

③子育て環境は、教育・生活・自然など勝山市が他と比較して優位なもので勝負することが必要だ。勝山市だけで実施するのではなく、誰と共同して実施するのか、関係構築が必要だ。この事業は2つの視点が欠落していないか。

理 応援金115（いいこ）は市独自の単独事業であるが、現在の地方財政制度及び地方債制度のスキームが維持されることを前提に継続的な実施が可能と判断した。国・県の補助金等はないが、他市町にない新しい子どもへの支援策として発信していく。この応援金は単に現金支給するものではなく、子どもたちの未来への投資という考え方に基づいている。応援金等の支援策をキーとして、豊かな自然、教育環境、安全な生活環境、地元企業との連携など、勝山市の魅力を行政、市民、企業が一体となってアピールし、移住・定住を促進して人口減少に歯止めをかけたいと考えている。

議 中学校を勝高敷地に建てる、勝高進学が増えて存続できるどころか2年連続の定員割れ。出生数は70人台に激減し、勝高敷地に建てる目的が破綻している。校舎建設の入札を一旦中止し、直ちに対策を検討すべきだ。

理 勝高定員割れの要因は、授業料無償化に伴う私立高校への進学や、部活動のために勝高以外の高校を希望する生徒の増加などであり、計画自体への反対が寄与しているとは受け止めていない。定員充足に向け、キャリア教育や勝高と連携した特色ある教育を進めていく。

● 除雪対策について
● 大阪・関西万博について

その他の質問

- ・ 学生用賃貸集合住宅について
- ・ 高校授業料無償化について



市議会 近藤栄紀 議員



議 ①今回の大雪で思ったのは、消雪装置の威力は凄いと改めて感じた。主要地方道勝山・丸岡線の松ヶ崎から毛屋の区間、長山から栄町までの県道勝山停車場線、また、市街地でもいたる所で消雪装置により雪が解けていた。そんな中、昨年完成した元禄線が雪の山と化していた。なぜ消雪装置を設置しなかったのか、今後更に消雪装置を増やしていくべきと考えるが、今後の計画を伺う。

②交差点付近で雪が高く積まれた状態が見られたが、排雪基準はどのようなになっているか伺う。

理 ①除雪は機械除雪が基本だが、機械が入れずに支障をきたす路線で水量が確保できる場合は、消雪装置を検討するとしている。元禄線周辺では既存の消雪装置の影響で水量の確保が困難であり機械除雪を選択した。今後も機械除雪で対応している路線で新たな消雪装置の設置予定はないが、除雪機械オペレーター不足が課題であるため、十分な水量が確保できる箇所は地区の理解のもと、機械除雪から消雪装置への変更を検討していく。

②市の雪害対策計画等では、交差点の安全性確保のため、交差点を見通すことができるよう努め、交差点角地の排雪を行うとしている。積雪時の道路交通の確保と安全対策のため適切な対応に努めていく。

議 県は万博の入場券を全小中高生に無償配布する。市として修学旅行、遠足などの校外学習として、万博訪問を計画できないか伺う。

理 大阪・関西万博について、市内の学校では修学旅行で万博訪問を予定する学校が3校ある。修学旅行は昨年から計画を進めており現段階での行程変更は困難。遠足についても日帰りが難しく、予定している学校はない。

令和6年度行政視察受入れ状況

勝山市議会では、全国の自治体議会からの行政視察を受け入れています。行政視察とは他自治体の先進事例を調査し、自らの自治体の政策立案や課題解決に役立てるものです。昨年度は北陸新幹線開業効果もあってか、例年より多い13市町議会から視察がありました。担当課の職員による説明や意見交換を通じて、当市の特色ある取り組みを知っていただくとともに、互いの知見を深め合う貴重な機会となりました。今後も開かれた議会として、このような自治体間交流に積極的に取り組み、地方自治の発展に寄与してまいります。

議会名	人数 (随行含む)	視察内容
長野県東御市	3	恐竜博物館や地域の歴史を活かした地域のまちづくり
埼玉県川越市	13	長尾山総合公園の整備、運営
秋田県羽後町	6	史跡や恐竜を活用したまちづくり
熊本県天草市	4	恐竜を活かした地域振興・観光振興
埼玉県北本市	10	にこにこ地域づくり事業
石川県津幡町	11	公民館のコミュニティセンター、まちづくり会館への移行
青森県平内町	8	子育て支援日本一の取り組み
千葉県芝山町	4	議会会議録検索システム、議会中継（定例会動画公開）、議会タブレット端末等の導入
山形県南陽市	5	にこにこ地域づくり事業、ちよいチャレ応援事業
山形県米沢市	4	にこにこ地域づくり事業
北海道音更町	3	「子育て支援日本一」を目指した取り組み
山梨県中央市	19	ちよいチャレ応援事業、わくわくクラウドファンディングイベント応援事業
長野県須坂市	5	恐竜を活用した地域振興・観光誘客の取組



1月臨時会・2月臨時会

1月24日の臨時会では、住民税非課税世帯に対する給付金や原油価格高騰対策による燃料購入チケットの配布、二酸化炭素排出量の削減に向けた住宅のLED照明への買換え支援にかかる補正予算について審議され、可決されました。

2月10日の臨時会では、勝山市立中学校建設工事入札が予定価格超過で2回中止になったことを受け、3回目の入札に向け中学校再編施設整備事業費の継続費増額等を求める補正予算について審議しました。原因は、労務費や資材価格の高騰、働き手不足等が想定されるとのことで、経済社会情勢の変化を踏まえ設計金額や事業スケジュールの見直しを行う旨の説明がありました。議員からは、設計や立地に見直しの余地がある、校舎面積が基本計画より増えており将来的に維持費も増大する、設計変更して工事費を削るべきという意見もありましたが、採決の結果、賛成多数で可決されました。

臨時会審議結果一覧

★ 議員提出議案

■ 表決を行ったもの

【1月臨時会】

議案番号	議 案 名	付託委員会	議決結果
議案第55号	令和6年度 勝山市一般会計補正予算(第5号)	予 算	可 決

【2月臨時会】

議案番号	議 案 名	付託委員会	議決結果
議案第56号	令和6年度 勝山市一般会計補正予算(第6号)	予 算	可 決

◆ 表決結果

※意見が分かれた案件については、電子表決システムを使って記名投票を行っています。

議 案 番 号	総 投 票 数	投票数		石 垣 智 史	李 江 嵐	吉 田 将 克	浦 上 雄 次	森 か よ 子	安 岡 孝 一	冨 士 根 信 子	下 牧 一 郎	近 藤 栄 紀	下 道 恵 子	丸 山 忠 男	帰 山 寿 憲	山 田 安 信	松 山 信 裕
		賛 成 票	反 対 票														
議 案 第 5 6 号	13	7	6	○	×	×	○	×	○	×	×	○	○	○	○	×	議長

○=賛成、×=反対、不=不在、除=除斥、議長=議長職（通常は採決に加わらない）

定例会審議結果一覧

★ 議員提出議案

■ 表決を行ったもの

議案番号	議 案 名	付託委員会	議決結果
議案第57号	令和7年度 勝山市一般会計予算	予 算	可 決
議案第58号	令和7年度 勝山市国民健康保険特別会計予算	総務文教厚生	可 決
議案第59号	令和7年度 勝山市後期高齢者医療特別会計予算	総務文教厚生	可 決
議案第60号	令和7年度 勝山市介護保険特別会計予算	総務文教厚生	可 決
議案第61号	令和7年度 勝山市育英資金特別会計予算	総務文教厚生	可 決
議案第62号	令和7年度 勝山市水道事業会計予算	建 設 産 業	可 決
議案第63号	令和7年度 勝山市下水道事業会計予算	建 設 産 業	可 決
議案第64号	令和7年度 勝山市市有林造成事業特別会計予算	建 設 産 業	可 決
議案第65号	令和6年度 勝山市一般会計補正予算(第7号)	予 算	可 決
議案第66号	令和6年度 勝山市国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	総務文教厚生	可 決
議案第67号	令和6年度 勝山市後期高齢者医療特別会計補正予算(第4号)	総務文教厚生	可 決
議案第68号	令和6年度 勝山市介護保険特別会計補正予算(第4号)	総務文教厚生	可 決
議案第69号	令和6年度 勝山市育英資金特別会計補正予算(第1号)	総務文教厚生	可 決
議案第70号	令和6年度 勝山市水道事業会計補正予算(第3号)	建 設 産 業	可 決
議案第71号	令和6年度 勝山市下水道事業会計補正予算(第3号)	建 設 産 業	可 決
議案第72号	令和6年度 勝山市市有林造成事業特別会計補正予算(第3号)	建 設 産 業	可 決
議案第73号	勝山市市民交流センターの設置及び管理に関する条例の一部改正について	総務文教厚生	可 決
議案第74号	犯罪被害者等支援条例の制定について	総務文教厚生	可 決

議案番号	議 案 名	付託委員会	議決結果
議案第 7 5 号	勝山市職員の給与に関する条例及び勝山市職員の定年引上げに伴う関係条例の整備等に関する条例の一部改正について	総務文教厚生	可 決
議案第 7 6 号	勝山市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正について	総務文教厚生	可 決
議案第 7 7 号	勝山市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について	総務文教厚生	可 決
議案第 7 8 号	勝山市職員の旅費支給に関する条例の一部改正について	総務文教厚生	可 決
議案第 7 9 号	勝山市特別職の職員の給与及び旅費に関する条例の一部改正について	総務文教厚生	可 決
議案第 8 0 号	勝山市行政組織条例の一部改正について	総務文教厚生	可 決
議案第 8 1 号	福井県市町総合事務組合規約の一部変更について	総務文教厚生	可 決
議案第 8 2 号	勝山市民会館の設置及び管理に関する条例の一部改正について	総務文教厚生	可 決
議案第 8 3 号	体育施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について	総務文教厚生	可 決
議案第 8 4 号	地域包括支援センターの包括的支援事業を実施するために必要なものに関する基準を定める条例の一部改正について	総務文教厚生	可 決
議案第 8 5 号	勝山市営温水プールの指定管理者の指定について	総務文教厚生	可 決
議案第 8 6 号	勝山市立学校の設置及び管理に関する条例の一部改正について	総務文教厚生	可 決
議案第 8 7 号	乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	総務文教厚生	可 決
議案第 8 8 号	家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	総務文教厚生	可 決
議案第 8 9 号	空家等の適切な管理に関する条例の一部改正について	建 設 産 業	可 決
議案第 9 0 号	勝山市水道事業会計建設改良積立金の目的外使用について	建 設 産 業	可 決
議案第 9 1 号	勝山市布設工事監督者及び水道技術管理者の資格等に関する条例の一部改正について	建 設 産 業	可 決
議案第 9 2 号	勝山市立中学校建設工事請負契約の締結について	新中学校建設	可 決
議案第 9 3 号	勝山市立中学校建設工事（地下横断歩道建設工事）請負契約の変更について	新中学校建設	可 決
議案第 9 4 号	勝山市教育委員会委員の任命について	—	同 意

◆ 請願・陳情

受理番号	要 旨	付託委員会	議決結果
陳 情 第 5 号	選択的夫婦別姓制度をただちに導入することを求めるよう国に意見書採択を求める陳情書	総務文教厚生	継 続 審 査
陳 情 第 6 号	「最低賃金法の改正と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書	建 設 産 業	不 採 択
陳 情 第 7 号	従来（紙）の健康保険証の発行存続を求める意見書提出の陳情	総務文教厚生	不 採 択
陳 情 第 8 号	訪問介護報酬引き下げ撤回と介護報酬引き上げの再改定を早急に行うことを国に求める意見書提出の陳情	総務文教厚生	不 採 択

◆ 表決結果 ※意見が分かれた案件については、電子表決システムを使って記名投票を行っています。

議 案 番 号	総 投 票 数	投票数		石 垣 智 史	李 江 嵐	吉 田 将 克	浦 上 雄 次	森 か よ 子	安 岡 孝 一	冨 士 根 信 子	下 牧 一 郎	近 藤 栄 紀	下 道 恵 子	丸 山 忠 男	埴 山 寿 憲	山 田 安 信	松 山 信 裕
		賛 成 票	反 対 票														
議 案 第 5 7 号	13	10	3	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	議長
議 案 第 5 8 号	13	12	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	議長
議 案 第 6 2 号	13	12	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	議長
議 案 第 6 3 号	13	11	2	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	議長
議 案 第 9 2 号	13	8	5	○	×	○	○	×	○	×	×	○	○	○	○	×	議長
陳 情 第 6 号	13	3	10	×	○	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	議長
陳 情 第 7 号	13	2	11	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	議長
陳 情 第 8 号	13	3	10	×	○	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	議長

○＝賛成、×＝反対、≡＝不在、除＝除斥、議長＝議長職（通常は採決に加わらない）

福井県立恐竜博物館25周年

福井県立恐竜博物館は、今年で開館から25年です。25年前の恐竜エキスポは60日間で80万人が来場しました。25年前、私は中学生でボランティアのために会場を訪れ、某テーマパーク並みの大行列の近くで来場者の記念写真を撮影した記憶があります。あれから25年、時がたつのはあっという間ですね。恐竜エキスポ後、閑散とした時期がありましたが、映画等の撮影で使用され、新館の建設や恐竜学部の新設があり、今では福井県を代表する観光施設となりました。

さて、25周年ということで、①大迫力の3面ダイノシアターの新作が公開、②オリジナルアニメーション映画の制作、③25周年記念研究誌の出版の予定があります。さらに、5月25日（日）まではポケモン化石博物館が開催しており、7月11日（金）～11月3日（月）には、史上最大の肉食恐竜スピノサウルスの全身復元骨格やメガロサウルスの実物化石等が展示されます。

恐竜エキスポ以来、訪れたことのない方もおられるかと思います。25周年を機に、進化し続ける福井県立恐竜博物館を訪れてはいかがでしょうか。（吉田 将克 記）



25年前の熱気

議会日誌

1月24日 議会運営委員会、1月臨時会本会議、予算委員会、全員協議会、総務文教厚生委員会、建設産業委員会、新中学校建設特別委員会	8日 巡回展「ポケモン化石博物館」オープニングセレモニー
28日 長野県須坂市議会行政視察受入 勝山商工会議所新春会員の集い	10日 総務文教厚生委員会
30日 福井県市議会議長会定期総会	11日 建設産業委員会
31日 勝山左義長ばやし保存会新年会・名誉会員と語る会	12日 予算委員会
2月 1日 勝山市スポーツ協会「新春懇談会」及び「世界に羽ばたく勝山市のアスリートを応援する会」支援金贈呈式	13日 予算委員会、議会広報特別委員会
4日、5日 議会運営委員会行政視察	16日 20歳のつどい
7日 大野・勝山地区広域行政事務組合臨時会 全国高速自動車道市議会協議会総会	17日 新中学校建設特別委員会、議会運営委員会
10日 議会運営委員会、2月臨時会本会議、予算委員会、全員協議会	21日 全員協議会、本会議、新中学校建設特別委員会
14日 福井県後期高齢者医療広域連合議会定例会	22日 勝山市食生活改善推進員協議会総会、勝山市保健推進員協議会総会
15日 谷の「お面さん祭り」	24日 マルツ勝山浄化センター消化ガス発電所開所式、さくらの植樹会、勝山市宮斎苑存続に関する協定書調印式
17日 勝山市防災会議	25日 勝山・永平寺衛生管理組合議会
19日 全員協議会、総務文教厚生委員会	27日 大野・勝山地区広域行政事務組合議会
22日 勝山左義長まつり一番太鼓式典、勝山左義長まつり各コンクール表彰式	31日 「リゾナーレ福井」起工式
26日 本会議、全員協議会、議会運営委員会	4月 5日 市民体育大会総合表彰式及び懇親会
3月 5日 本会議（代表質問・一般質問）	7日 議会広報特別委員会
6日 本会議（一般質問）、議会広報特別委員会	8日 春の交通安全県民運動
7日 予算委員会、総務文教厚生委員会、建設産業委員会、全員協議会、本会議	13日 春季消防訓練
	14日 議会広報特別委員会
	15日 北信越市議会議長会定期総会
	17日 全員協議会、総務文教厚生委員会、建設産業委員会、勝山地区保護司会懇親会

編集後記

春といえば入学や卒業の時期ですが、出会いや別れがあるなかで、何か新しい一歩を踏みたくなる季節でもあります。勝山市も様々な課題を抱えてはいますが、市民皆様と共に歩みながら挑戦を忘れない市政運営を基盤に、市議会一同尽力してまいります。令和7年度もどうぞよろしくお願いいたします。（浦上 雄次 記）

《議会広報特別委員会》

委員長 丸山 忠男 副委員長 李 江嵐 吉田 将克 浦上 雄次 富士根 信子

発行：勝山市議会 〒911-8501 福井県勝山市元町1丁目1-1 TEL 0779-88-8100(直通)

編集：議会広報特別委員会〈URLアドレス〉<http://www.city.katsuyama.fukui.jp/>

〈Eメールアドレス〉gikai@city.katsuyama.lg.jp



議会中継動画